

カッチャバ湿原のトンボ観察

&大井沢で一日昆虫博士



標本でまずは勉強

途中、色々な植物の話の聞いたり、小桑の実をもいで食べたり、大井沢独特の赤腹イモリを捕まえたりしながらカッチャバ湿原へ到着。

早々にたも網で池の中からすくい上げると、コオイムシが卵をしょってのお出迎え、ヤゴやマツモ虫なども捕獲され、楽しい水中生物観察会となりました。



大井沢自然博物館「甲虫の世界」展
(講師も務めた秋山氏の膨大なコレクション)

閉会式では、また来年も参加したいとの感想もあり、その後おみやげにミヤマクワガタやコクワガタをもらい、詳しい飼育方法も学んで終了となりました。

第1回朝日自然塾(※)が7月7日(土)に、山形県西川町大井沢地区で、西川町自然と匠の伝承館・大井沢自然博物館、西川町役場の協力を得て実施しました。

今年の参加者は、当初4組9名の参加予定でしたが、3組6名の少数精鋭の観察会となりました。

台風等の接近もあり、カッチャバ湿原に行くかの判断に迷いましたが小雨決行で実施し、まずは、トンボの標本でハッチョウトンボやイトトンボについての勉強会を実施しました。今回は、昆虫採集が難しいため、池の中にひそむ水中生物の観察会に変更となりました。

それから、完全防備でたも網とバケツを持って、カッチャバ湿原へ向かいました。



小雨の中どんな生き物がいるのかな

午後からは、大井沢自然博物館に場所を移して、昭和26年当時大井沢小中学校で取り組まれた、自然学習の成果とも言える、数多くの動物のはく製を観察し、その後、今回の講師も務めた秋山氏の「甲虫の世界」展で、クワガタやカブトムシ、チョウやセミの標本を観察しました。

セミの標本で、色抜けを防ぐ方法として、電子レンジでチンすると聞かされた参加者は、驚きをかくしきれませんでした。



最後はみんなでハイポーズ

※朝日自然塾: 東北森林管理局と朝日山地森林生態系保護地域の利用と保護管理に深く関わりをもつ各団体が協力し、朝日山地及び周辺地域において体験活動型森林環境教育を推進するため企画実践しています。